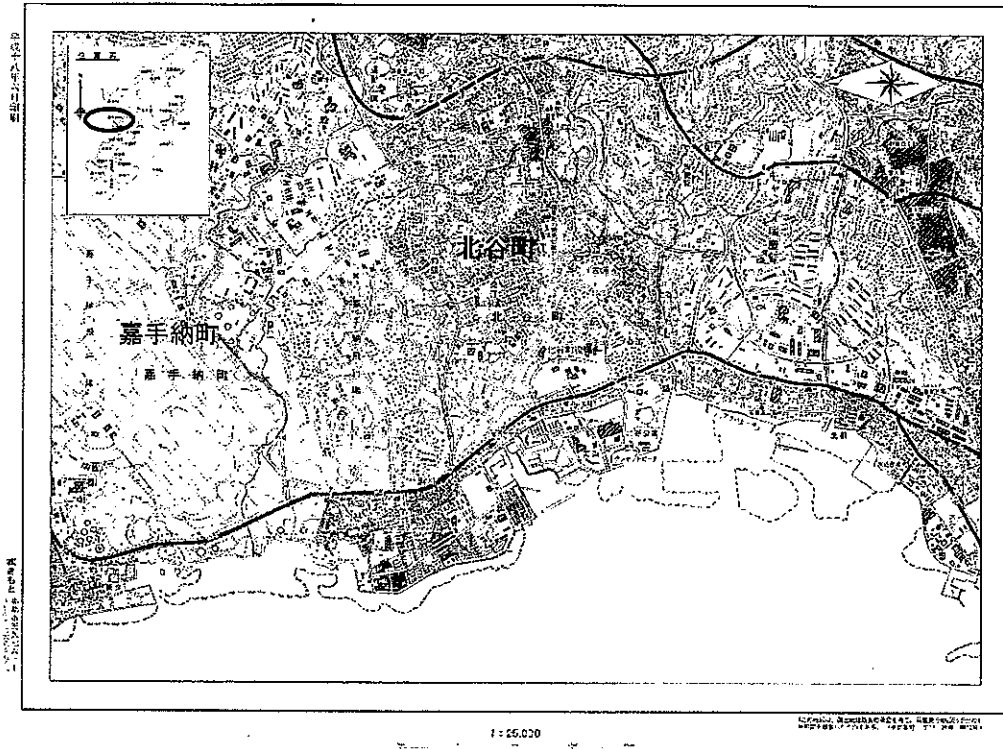


## 私たちの新たな挑戦

北谷町漁業協同組合女性部  
座喜味優子 座喜味あさみ

### 1. 地域の概要

北谷町地形図



私たちの住む沖縄県北谷町は、那覇市から北へ約 16 km の沖縄県本島の中部に位置し、本島リゾート観光拠点形成する恩納村をはじめ、北部地域と国道 58 号線につながっている。北谷町の面積は 13.63 km<sup>2</sup> であり、町土の約 54% を米軍基地に占有されており、県内でも 3 番目の基地占有率となっている。近年では、公有水面埋立や返還軍用地の跡地利用などによる西海岸一帯の開発が進み、特に美浜アメリカンビレッジの開発進展により、県内でも特異な“都市型リゾート”の性格を持つに至っている。さらには、年間来客数 840 万人という集客力を核として、町内唯一の漁業生産基地である浜川漁港周辺では、北谷町フィッシャリーナ事業を核とした集客型ウォーターフロント開発が進められている。さらに、プロ野球チーム中日ドラゴンズの春季キャンプ地としても有名である。

### 2. 漁業の概要

北谷町漁協は、正組合員 30 名、准組合員 15 名で、主な漁業種類は刺し網漁業、一本釣り漁業、延縄漁業、潜水漁業を行っている。最近の水産業全体を取り巻く環境は、水産資源の減少や魚価の低迷、漁業就労者の高齢化、後継者不足など、厳しい状況下に置かれている。

北谷町漁協もこうした事態に対応できるよう新たな施策を必要としており、平成 19 年の 3 月に①ひとづくり構想、②港づくり構想、③ものづくり構想を三本柱とする、北谷町漁協振興計画「北谷ニライの海づくり構想」を策定し、北谷町漁協の体質改善と付加価値化を進め、漁業者個々の所得向上と漁協経営強化の達成へ向け、組合員、漁協職員、私たち女性部も一丸となり、推進している。

### 3. 研究グループの組織と運営

北谷町漁協女性部は、平成 15 年 11 月に発足し、鮮魚直売店と食堂を運営してきた。女性部メンバーは現在 5 名と人数は少ないが、直売店、食堂経営のみならずさまざまな活動に積極的に取り組んでいる。

### 4. 研究・実践活動取組課題選定の動機

北谷町漁協女性部は、平成 15 年の立ち上げ当時から漁業者である夫の漁獲物を少しでも高く売りたいという思いから、団地などの町内の市場へ刺身の行商を行ってきた。そして、もっと魚食普及へ貢献したいという意欲から、直売事業と食堂事業を開始し、当日セリで上がった新鮮な魚介類を一般の方々にも提供できるようになった。また、未利用資源を活用した加工品や食堂での新メニューの開発、観光事業を中心とした北谷のまちづくり活動への参画や産業祭りなど行事への参加、さらには海難防止活動にも取り組んでいるので、ここで紹介したい。

### 5. 研究・実践活動状況及び成果

私たちが運営する直売店及び食堂で取り扱う魚は、女性部自らがセリに参加し仕入れており、いつも新鮮なものをお客さまに提供できている。こうした鮮魚の他にも揚げたての天ぷらや水産加工品も販売している。最近では、新商品開発などの新たな取り組みにも挑戦している。時期になると北谷町の海岸へ打ち寄せられるアナアオサをうまく活用できないかと知恵を絞り、佃煮やせんべいに加工し商品化したところとても評判が良く、地域の産業まつりでも特産品コンテストでグランプリを獲得した。こうした加工品は主に地元や県内のイベントを中心に販売活動している。食堂でも常にとれたての魚をいかに美味しく提供できるか日々工夫を重ねながら営業している。現在の定番メニューとしては魚汁や魚バター定食、もずく丼などがある。最近ではカニの消費拡大を図ることによりカニの町としての知名度を高めるため、漁協と連携しプロジェクト委員会を立ち上げ、私たちは新メニューを提案し、消費拡大への貢献を目標に取り組んできた。中でも脱皮したガザミ（ソフトシェルクラブ）を油で揚げてパンではさんだ「ソフトシェルクラブバーガー」は、女性部食堂の新しい目玉となり、外国人や観光客の方々にも大変好評である。

また、客層としては、地元の方々が約 8 割程度と多いが、昨年より旅行会社と観光部会とタイアップし、ワンチョイスマリメニューとバーベキューランチのツアー商

品を販売することで、昨年の実績では、7月1日から10月31日までの間に、約3,000名の観光客にお越しいただいた。

その他の取り組みでは、沖縄県漁業協同組合連合会及び第十一管区海上保安本部が、漁船海難防止及び漁船海難に伴う死亡・行方不明者の減少を目的として、漁船乗船者を対象としたライフジャケット着用率向上のための推進活動を実施している中、その一環として、北谷漁協女性部を筆頭に沖縄県で初めて11名の女性ライフジャケット着用推進員「ライフガードレディーズ：Life Guard Ladies（通称 LGL）」として、平成21年9月7日に委嘱を受けた。現在、漁業者へのライフジャケット着用推進活動中である。

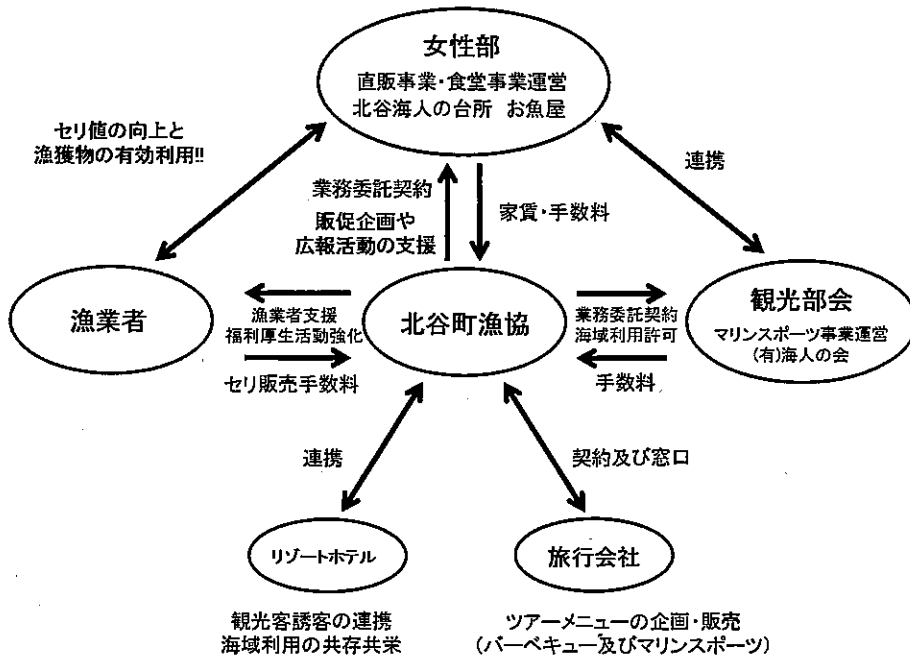
## 6. 波及効果

私たちの活動について、北谷町観光協会へのガイドマップへの参加や北谷町商工会の会員としての情報発信、ブログでの活動紹介など、あらゆる形で宣伝活動も行っている他、旅行会社や観光部会とタイアップし、ツアー商品の企画などへの参加を行っているので、北谷漁協のみならず北谷町の中での私たち女性部の存在意義は高まっていると確信している。私たち女性部の直売店や食堂の経営は開業当時に比べ幾分改善されてきているが、賃金体系や営業利益などについては、現在のところまだまだ安定しているとはいえない状況である。それでも女性部メンバー全員がやりがいを持って生き活きと仕事に精を出しているので、少なからず魚価の向上やセリでの売れ残りの減少による漁業者の漁獲意欲の向上、ひいては漁家の経営改善にも反映していければと考える。

## 7. 今後の課題や計画と問題点

原材料費及び管理費の調整を密に行い、賃金体制の健全化を図り、今後は女性部活動の予算組みもスムーズに行えるように、経営改善の見直しに努めてゆきたい。また、食堂でのリピーターのお客さまが増やせるような営業努力、直売店の売り上げ拡大へ向け販促活動の強化を図りたい。また、北谷町の推進している「北谷町フィッシャリーナ整備事業」へも漁協と連携し、女性部事業としてレストランまたは直販での参画も視野に入れ、推進していきたい。

北谷町漁業協同組合 女性部 活動フロー



北谷町漁協女性部活動拠点「お魚屋」



女性部メンバー



加工品1. アナアオサの佃煮



加工品2. なまこの味噌煮



加工品 3. アヲアオサの小亀煎餅 . . . 町内の特産品コンテストでグランプリを受賞



食堂「お魚屋」店内の様子

人気上昇中のソフトシェルクラブバーガー



イベント出店の様子



沖縄県内初のライフガードレディースとして認定を受けました